

カルスト通信

も り

森林のたより

Karst
correspondence

2003.1
vol.7



カルスト森林組合



代表理事 組合長
伯野 眞知人

年頭のあいさつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には、思いを新たに希望に満ちた2003年の輝かしい新年を迎え、心よりお喜び申し上げます。さて依然として厳しい、林業の現状は戦後の復興で、住宅の需要に応じる為、木材需要が急増して、昭和30年代には、木材生産が盛んに行われてきました。一方木材の輸入が、昭和36年から段階的に自由化されて、現在では、木材輸入量が80%を占める様になり、木材価格は、昭和55年をピークに年毎に下落し、今ではピーク時のヒノキが30%、スギが40%まで下がって参りました。そして国民が森林に期待する役割の順位が大きく変って、木材が1番高かった昭和55年には、木材生産が2番目であったものが、現在では1番目が災害の防止、2番目が水資源のかん養で、木材生産が9番目まで順位が下がって参りました。国民の森林に、対するニーズの変化にともない、国も政策転換することになり、今までの林業基本法を、森林林業基本法として法律の一部を改正したところであります。今回の改正されたその中で新たな制度として「森林整備地域活動支援交付金制度」ができました。

これは木材価格が長期にわたる低迷で林業は採算性の悪化で停滞し、山村は衰退して、森林への関心が薄くなってきました。しかし人工林を中心とした森林資源は増えているものの、手入れをしない放置森林が多く見かけるようになり、このまま推移すれば森林の公益的機能の発揮にも支障をきたすことが懸念される状況にあることからこの制度ができました。

これは意欲ある森林所有者が、新たに30ヘクタール以上の団地施業計画を樹て、認定を受けた処で、その森林の35年生以下の人工林についてはヘクタール当り一百万円の交付金がもらえる制度です。

この制度は平成14年度から平成18年度までの5カ年計画で、組合はこの制度に積極的に取り組んで、受託事業を推進しますので、ご利用頂きますようお願いいたします。森林組合の平成13年度決算状況は総売上4億9千万円を上げる事ができ当初目標に近い成績を納めることができました。事業面で特に利用部門の緑化整備、治山事業の延びで増収となり、組合員からの受託事業も1億2千万円の利用がありました。このような事業が遂行できた事は各関係機関をはじめ、組合員各位のご支援、ご協力の賜で、このような成果を納める事ができました。この事について深く感謝申し上げます。尚余剰金処分については、経営安定を図るため、特別積立金等の内部留保を優先しました。また平成14年度は林業が一段と厳しい状況となりますので、総売上4億5千万円を目標に頑張つて見る事を計画しました。事業面の中で特に、新た

に始まった、森林整備地域活動支援交付金制度を契機に意欲ある森林所有者から受託事業を促進して、事業の拡大に努めて参ります。その為の地区座談会の開催や組合広報紙「森林のたより」を送付して、業務の内容を周知しながら新たな仕事の掘り起こしに努めて参ります。組合は組合員との信頼と協力関係をさらに強化する様、努力して決意を新たに組合員の期待に応えるため、役員一丸となつて、林業の振興に努めて参りますので、組合員各位のなご一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭に当たり皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶いたします。



美祢農林事務所 森林部長
内田 征夫

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、日頃から森林・林業行政の推進につきまして、ご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて最近の社会・経済情勢は、景気回復の兆しも見えない厳しい状況が続いておりますが、林業関係も、木材価格の下落等、もろに影響を受けておるところです。

一方で、21世紀は「環境の世紀」といわれており、水源かん養や土砂流出

防止、さらには地球温暖化防止機能等、多様な機能を有している森林に対しての期待は、ますます高まっております。しかしながら、森林整備の現状は、木材価格の下落等厳しい環境の中にあって間伐等の実施が不十分で、森林の持つ多様な機能が十分に発揮できるか、懸念されておるところです。県としましても、森林の整備、とりわけ間伐の推進を重点課題として取り組んでおり、13年度には美祢管内で約600ヘクタールの間伐が実施されましたが、これからも、年間600ヘクタール以上の間伐実施を目標としております。

皆さんご承知の通り、14年度からは、間伐等の森林整備を計画的に確実に実施するため、森林現況調査等の地域活動を支援する「森林整備地域活動支援交付金制度」が始まりました。農業における直接支払い制度の林業版といえるものです。

これからの間伐等の森林整備は、いかに森林所有者の負担を少なくし、計画的に実施していくかがポイントになろうかと思いますが、この制度を活用すれば、交付金とは別に造林補助事業でも高率の補助が得られます。

もちろんこの制度において中核となるのは森林組合で、これからますます森林組合の役割は重要になってきます。今後の森林組合の体制が強化され、森林組合が中心となつて、この管内の森林が計画的に整備されるよう、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

終りになりますが、森林組合のますますのご発展と、組合員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

森林づくりを支える

交付金

（森林整備地域活動支援交付金制度）

スタート！！

この制度は、林業の採算性の悪化、高齢化、不在村化等により、森林施業実施が十分に行われない森林が増加している。

このままでは、皆さんが心をこめて植え、育てた山がダメになり、森林のもつ大切な働きも十分発揮できなくなります。

そこで森林の現況調査、施業実施区域の明確化作業、歩道の整備等、山の手入れを進めるために欠かせない活動を交付金により支援する制度です。

国共担当



- この交付金制度については、9月10日より、地区座談会として美東町、秋芳町、美祢市の順でまず北部より説明し、組合員の皆様にご理解を求めた処です。又南部地区も楠町、宇部市、山陽町の順で開催しました。そこで、当組合としては、
- (一) 森林組合と森林所有者が施業委託契約を結ぶ。
 - (二) 30ヘクタール以上の団地的まとまりの森林所有者のとりまとめ。
 - (三) 森林施業計画の作成。
 - (四) 森林の現況調査等の対象行為
 - (五) 交付金の申請手続・配分

を行い、この交付金制度を有効に利用し組合員の皆さんの山を少しでも価値あるものにしていただきたい。

事業実施期間

平成14年度から平成18年度までの5カ年間

平成14年度 森林整備地域活動支援交付金制度の取組数（公社はのぞく）

	美 祢	美 東	秋 芳	楠	計
団 地 数	5	4	4	1	14
団地面積(ha)	254.92	156.16	161.78	35.88	608.74
森 林 所 有 者 数	61	47	42	4	154
積算基礎森林(ha) (人工林35年以下等)	138.19	89.58	131.05	33.08	391.90

美秋材等良質材品評会

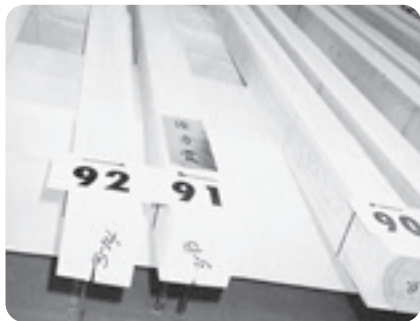
この品評会は、昭和四十九年に良質柱材の産地化を目標に美秋林業園（美祢市・美祢郡地域）が設定され良質柱材生産育林技術指針に基づき、枝打ち、間伐等を繰り返し育林施業に取り組んできた柱材を平成元年より技術検討会、平成四年から良質品評会を開始し開催している。更に育林技術の向上及び生産意欲の高揚を図り、ヒノキの「柱材」にして出品、製品としての評価を競い良質柱材としての美秋材のPRをしていく。

- 主催 美秋林業推進協議会
- 共催 山口県美祢農林事務所
- 協賛 山口県林業協会山口支部
- 山口流域林業活性化センター
- 美祢地区林業研究グループ連絡協議会
- 美祢地区林業士会
- 秋芳町
- カルスト森林組合
- 秋芳町林業経営研究会



今年のお出品組数は 77組154本で

阿東町森林組合木材加工場長の山本秀生、周南森林組合技師の藤井年克、美祢農林事務所森林活用課長の山田祥生、カルスト森林組合の谷村常務による、厳正な審査が行われた。



	受賞者			林 齢	原 木		製 品		
	氏 名	市 町 村			末 口	材 積	寸 法	等 級	含水率
最優秀賞	倉 増 清 勝	美 東 町		36	20	0.120	12.0	2 無 1 上	32.5
				36	20	0.120	12.0	2 無 1 上	35.5
優 秀 賞	田 中 ハ マ 子	美 祢 市		37	18	0.097	12.0	1 無 1 上 1 小	36.0
				37	17	0.087	12.0	2 無 1 上	36.5
	山 相 久 利	美 祢 市		48	18	0.097	12.0	1 無 1 上 1 小	45.5
				37	20	0.120	12.0	1 無 1 上	36.0
	池 田 俊 広	美 祢 市		50	19	0.108	12.0	3 無	37.0
				50	19	0.108	12.0	3 上	47.5
	倉 増 和 弘	美 東 町		35	19	0.108	12.0	1 無 2 上	44.0
				35	22	0.145	12.0	2 上 1 小	34.0
努 力 賞	坪 井 和 登	秋 芳 町		30	21	0.132	12.0	1 上 1 小	35.5
				30	22	0.145	12.0	1 無 1 上	35.0
	高 橋 博 嗣	美 祢 市		45	18	0.097	12.0	1 無 1 上 1 小	39.5
				45	19	0.108	12.0	1 小	33.5
	藤 岡 和 文	美 祢 市		36	19	0.108	12.0	1 無 1 小	37.0
				36	18	0.097	12.0	1 上	40.0
	倉 増 幸 雄	美 東 町		37	20	0.120	12.0	1 無 2 上	42.0
				37	21	0.132	12.0	1 小	42.5
	藤 井 明 男	美 東 町		37	21	0.132	12.0	2 上 1 小	42.0
				37	21	0.132	12.0	1 小	45.0
	貞 永 貴 美 子	美 東 町		45	22	0.145	12.0	1 無 1 小	29.5
				45	20	0.120	12.0	2 無 1 上	43.5
	五 嶋 義 一	秋 芳 町		38	20	0.120	12.0	2 無 1 小	36.5
				38	20	0.120	12.0	1 無 1 小	59.0
	飯 田 暁 生	秋 芳 町		40	23	0.159	12.0	2 上	33.0
				40	20	0.120	12.0	1 上 1 小	33.5
	渡 辺 敏 男	秋 芳 町		38	20	0.120	12.0	3 無	53.0
				38	20	0.120	12.0	3 上	37.0
	田 邊 厚 實	楠 町		40	20	0.120	12.0	1 無 2 上	34.5
				40	18	0.097	12.0	1 小	29.0
	井 上 洋 昭	宇 部 市		43	24	0.173	12.0	1 上 2 小	36.5
				43	24	0.173	12.0	2 上 1 小	32.0

【林家訪問】：シリーズ5



五嶋 義一さん
(83才)

美祢郡秋芳町大字嘉万栢木
生年月日 大正八年一月二五日生
森林所有地 人工材約五・五ヘクタール
天然林約〇・五ヘクタール
資格、育林技術士A級 昭和五九年取得

柱材品評会成績

- 平成 五年度 努力賞
- 平成 七年度 優秀賞
- 平成 十年度 努力賞
- 平成十一年度 最優秀賞
- 平成十三年度 努力賞
- 平成十四年度 努力賞

五嶋さんは、右のとおり秋芳町嘉万で五嶋家の四男として生まれ育ち、戦争も体験、昭和二十三年に独立分家され現在に至る。山村で育ったせいで山には興味があり、分家の後多少の山を取得した。そんな折、ある林業雑誌に「京都北山では、雪の降った日は朝早く、提灯をさげて山に入り、木についた雪

協力事業体研修

平成十四年度カルスト森林組合協力事業体班員研修会を長門市（大谷山荘）で協力事業体23班104人の参加をもっておこなった。

防府市の吉岡総合事務所代表の吉岡敬祐先生の「元気をだそう日本人」の講演を聞き、現在、林業関係が非常に落ち込んでいる中、何とか元気を取り戻し、林業が「業」としてやっていけるよう頑張れカルスト森林組合である。

今、事業体の人員構成は、中高年が主であるので「若さを保つ、元気を出す、ボケを封じる」この三つに注意し仕事に精を出し、又、組合員の皆様からの要望に応えていける職員、協力事業体とならなければならない。



人事異動

() 前職

協力事業体紹介

上利班（秋芳町）

上利班は朝、班長宅に集合し揃って目的の山へ人員輸送車で向う。

行く道程によるが車内、又は着いて、その日の、工程の説明が班長より有り仕事に取り掛かる。取材に行った時は、やまぐち森と緑の公社の枝打作業中であった。

この班には、班長をはじめ3人のA級育林技術認定者と10年以上にわたり組合の林業作業に携わった人達で仕事も手際よく効率が上がっていた。上利班は、30年も前に上利武文さんのお父さんの保人さんが班長で結成され、秋芳町森林組合の作業班として活躍されていた。

お父さんが亡くなられ勤人であった武文さんが帰られて班長を務められ現在に至っている。

武文さんは意欲的に林業の事を勉

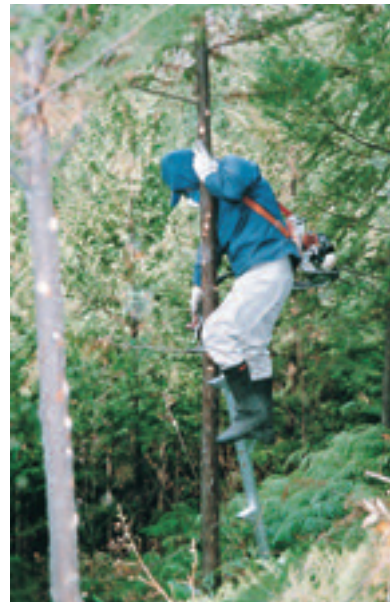
上利班

班 長 上利 武文
班 員 上利 和馬
長尾 賢一
配川 義明
上利ミサ子
杉山フサエ
木内 郁枝



強され、昭和61年度には山口県基幹林業作業士研修を修了され認定作業士となられ、平成9年度には山口県指導林業士に認定され、平成4年からは地元秋芳育林部会副会長の任を務めておられます。林業仕事の合間には農協より、田植え、稲刈りの仕事も請け地域の農林業の担い手としてがんばっておられます。上利班の平成13年度の組合の仕事実績は次のとおり。

新植 6ヘクタール
下刈 48ヘクタール
間伐 31ヘクタール
枝打 14ヘクタール
計 99ヘクタール
その他緑化整備



表紙の写真



美祢市内にある彦山竹林公園である。ここには竹の種類が約50種あり、昨年美祢市の篤志家が市に寄贈され、市が整備を行い、いまでは市民のいこいの場となっている。散歩がてらに竹林を見ながら登って行くと頂上には阿屋「竹風亭」があり、美祢市内を一望できる眺めの良い場所である。

県森連豊田共販所木材市況

(1月10日)

樹 種	長 さ	径 級	中 値	高 値
ス ギ	3 m	14~16	15,500	
		18~22	15,700	
		24上	12,000	
	4 m	13~16	12,600	カシ
ヒ ノ キ	3 m	18~22	18,100	5.4×34
		24~28	13,500	63,100
		14~16	25,400	4.3×34
	4 m	18~22	26,300	60,100
マ ツ	3 m	24~28	18,000	2.0×40
		11~12	10,100	53,600
		13~16	28,500	
	4 m	18~22	27,100	
マ ツ	2 m	18~30		
		14~16	曲 9,000	
		18~22		
	4 m	14~16	曲 9,000	
		18~22		
		24~28		

編集 後記

2003.1
vol.7

昨秋は、例年になく早く寒くなり、山の紅葉も一段と美しい秋を迎え山の木々も冬じたくを早々とした。

昨年は「森林、林業基本法」が制定され、その内容は木材生産のみならず、水源かん養、災害防止、環境保全、レクリエーションなど、森林の多様な価値観を尊重する法に変わり森林組合としては厳しい法則に生まれ変わったといえるでしょう。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番 1
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587